

## 第5回広陵検定 正解及び解説・出典シート

### 第1 地理分野

#### 問1 ウ

2008（平成20）年に当時県内一人口の多い町だった田原本町を追い抜き、奈良県で最も人口の多い町となりました。全国的に人口減少や消滅可能性都市が叫ばれるなか、人口が減少局面に入っていない、数少ない自治体です。

『広陵町ホームページ及び町広報紙』

#### 問2 ア

東京都新宿区は18.22km<sup>2</sup>、大阪府八尾市は41.72km<sup>2</sup>、奈良県王寺町は7.01km<sup>2</sup>、沖縄県那覇市は39.98km<sup>2</sup>です。東京の大都市、新宿と同じくらいの面積と聞くと、あなたは、広陵町は大きいと感じますか？小さいと感じますか？

『広陵町ホームページ及び各自治体ホームページなど』

#### 問3 ア

大字三吉は、赤部村、大垣内村、斉音寺村の3村が1876（明治9）年に合併し、その後明治の大合併で大字の一つになりました。そのため、他の大字よりも多くの人口（約3,200人）があり、区については、赤部、大垣内、斉音寺と別々になっています。

『広陵町史』P579・P713

#### 問4 イ

広陵町は、北東から時計回りに三宅町、田原本町、橿原市、大和高田市、香芝市、上牧町、河合町と7市町に囲まれています。

#### 問5 ウ

広陵町は、西部に馬見丘陵という小高い丘が南北に連なっていますが、町内では真美ヶ丘配水場のある地点（馬見南2丁目）が一番高く、標高約80mとなっています。

#### 問6 エ

主な河川として、町域の東から、曾我川、葛城川、高田川、佐味田川が流れています。これらの河川は町の北部や河合町で合流し、最終的に全て大和川に合流します。

#### 問7 ウ

広陵町史に「箸尾の「ハシ」は「土師<sup>はし</sup>」の意か、（中略）尾は、「生」と同義の地名だろう」と記載されているとおり、古くは豪族の土師氏が生活していたことから付いた地名だといわれています。

『広陵町史』P1053

問8 ア

2012（平成24）年度から県営水道を100%受水しています。それまでは全体取水量の約4分の1を旧南郷浄水場から受水していました。

問9 イ

広陵町は、日本の気候区分でいうと、瀬戸内気候または太平洋岸気候に属し、周辺に比べ、夏場にあまり雨の降らない地域です。しかし、統計では、梅雨がある6月に最も雨が降っています。

『町勢要覧2014』資料編P2

問10 イ

大字寺戸と大字大野にまたがっている小字を「おんどり」といい、この付近の高田川にかかる橋を、「おんどり橋」と言います。

問11 ウ

正式名称を「奈良県営馬見丘陵公園」といい、奈良県が直営で運営しています。毎年100万人の来場者があり、季節ごとのイベントや子ども用遊具、遊歩道など、全ての世代の方が楽しめる公園です。

『ホームページ「なら旅ネット」』

問12 ア

馬見丘陵公園は大きく4つのエリアに分かれており、池部駅から馬見丘陵公園の大型テントまでのエリアが「緑道エリア」、大芝生広場や大型テントおよび花見茶屋があるのが「北エリア」、公園館、菖蒲園やナガレ山古墳などがあるのが「中央エリア」、そして巢山古墳に隣接するのが「南エリア」です。

『馬見丘陵公園ホームページ』

問13 エ

広陵町は県北西部に位置していますが、「中和」や「中西和」に区分されることが多くなっています。ちなみにアは斑鳩町付近、イは橿原市付近、ウは天理市付近となっています。

## 第2 歴史分野

問14 イ

柱の部分（竿）は、断面四角形で上部が左右に丸くふくらみ、基礎がなく直接地面に埋め込まれています。織部焼で有名な茶人、古田織部ふるたおりべが好んだことから“織部形”と呼ばれます。

竿が十字架に見えることから隠れキリシタンがつくったという俗説がありますが、根拠はまったくありません。

『町広報紙』平成28年12月号

問15 ア

高野山金剛峯寺多門院の末寺で満島山を号としており、県指定文化財の十一面観音立像が安置されています。江戸時代には30石が下付され、徳川家康から家茂までの歴代将軍の朱印状が残っています。

『町勢要覧2017』P27

問16 ウ

聖徳太子が開いた熊凝精舎を前身とする日本初の官寺「百済大寺」の伝承地とされています。現在の三重塔は鎌倉時代の建立と伝えられています。

『町勢要覧2014』P11

問17 ア

「百済」という地名が残っているとおり、当時は「百済荘」があったそうです。なお、この地を百済というのは、昔に百済（現在の韓国西部）から日本に、渡来人として来た人が土着したことが由来とされています。

『広陵町史』P204～208

問18 ウ

江戸時代初期、渇水に悩まされていた南郷地区の現状を見て、当時、この地域の代官だった喜多見勝忠がため池を整備したそうです。現在も灌漑用水として知られていますが、以前から比べると使用量が減ったため、池の半分を埋め立て、2016（平成28）年11月にコープなんごうがオープンしました。



『(旧) 広陵町史』P301・302および『広陵町史』P296・297

問19 エ

1955（昭和30）年4月15日に当時の馬見町、瀬南村、南郷村が合併して広陵町となりました。遅れること1年余り、1956（昭和31）年9月に箸尾町が編入合併し、今の広陵町に近い形となりました。

『広陵町史』P689～693

問20 ア

『竹取物語』に書かれた竹取翁（讃岐造）とかぐや姫の住んでいたところは、大和国（現在の奈良県）とされており、讃岐と名付けられた神社のあるところは、奈良県北葛城郡広陵町だけであることから、広陵町はかぐや姫の里ゆかりの地と考えられています。讃岐は「散吉」とも書かれ、「三吉」にも通じます。

問21 ウ

大和高田市への合併の希望を捨てられなかった池尻と藤森の住民は、1957（昭和32）年4月に住民投票を実施、同年7月に分離が確定しました。

『広陵町史』P692・693

問22 ウ

大字古寺にある奈良県広陵健民運動場（健民グラウンド）でソフトボールが、大字笠にある広陵中央体育館でフェンシングが行われました。

『第39回国民体育大会わかき国体写真集』

問23 イ

a. は馬見町と瀬南村と「百済村」が合併しました。d. は甲子園に「初出場」で、2回目は大和広陵高等学校として平成25年春のセンバツに出場しました。

問24 ウ

この辺りの古墳から朱がたくさん掘り出されたことから「赤坂山」という地名がついたと言われています。

広陵町社会教育委員会編纂『広陵町の民話』②赤坂の古戦場（大野）

『(旧) 広陵町史』P435・436

問25 イ

元々、他村（佐味田（現河合町））の領地でしたが、付近を開墾し、麦粉と交換したことからこの名がついたといわれています。なお、麦粉池は「むかいけ」と呼ぶそうです。

広陵町社会教育委員会編纂『広陵町の民話』⑨麦粉池（赤部）

『(旧) 広陵町史』P444

問26 ア

おそらく「火をおこす（熾す）」ところから来ていると考えられます。

広陵町社会教育委員会編纂『ふるさとの言葉』No. 22

問27 エ

広陵町社会教育委員会編纂『ふるさとの言葉』No. 272

問28 イ

野村豊和さんは柔道オリンピック三連覇した野村忠宏さんの叔父です。

問29 ア

地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりがあり、地域住民が一体となったものが選定される賞で、建設省（当時）から1999（平

成11)年に受賞しました。

『町勢要覧2014』P9

### 第3 古墳分野

問30 ア

巢山古墳は古墳時代中期初頭に造られた、全長約220mの前方後円墳です。1952(昭和27)年3月29日に国の特別史跡に指定されました。出島状遺構は、史跡整備事業に伴う発掘調査で前方部西側の周濠内から見つかりました。家形、<sup>かこい</sup>形、<sup>きぬがさ</sup>形、<sup>さく</sup>形、<sup>たて</sup>形、盾形、水鳥形の形象埴輪が出土しました。

『ふる里の文化財をたずねて』P11、『文化財と自然探訪マップ』、『巢山古墳』リーフレット

問31 イ

新山古墳は古墳時代前期中葉に造られた、全長約126mの前方後方墳です。明治19年に陵墓参考地に治定されました。三角縁神獸鏡、<sup>ちよつこもん</sup>直孤文鏡などの鏡が34面出土しています。アは牧野古墳、ウは三吉石塚古墳、エは巢山古墳です。

『広陵町史』P22～33、『ふる里の文化財をたずねて』P10、『文化財と自然探訪マップ』

問32 ア

平たい<sup>くちばし</sup>嘴をもつコハクチョウ(<sup>がんかもるい</sup>雁鴨類)と考えられています。

『ふる里の文化財をたずねて』P12、『広陵町文化財保存センター』リーフレット



問33 エ

文代山古墳は古墳時代中期後半に造られた、一辺約48mの方墳です。猪形埴輪の他に、犬形、馬形、家形、<sup>きぬがさ</sup>蓋形などの形象埴輪が出土しました。

『広陵町史』P56～59、『ふる里の文化財をたずねて』P16、『文化財と自然探訪マップ』



問34 エ

アの新木山古墳は全長約200mの前方後円墳、三吉石塚古墳は全長約45mの帆立貝形古墳、牧野古墳は径48～60mの円墳です。巢山古墳は問30参照のこと。

『文化財と自然探訪マップ』ほか

問35 エ

東西18m、南北13mの小さな方墳で、出土した鉄釘に木質が付着することから、組合せ式の木棺が埋葬されたと考えられています。

『広陵町史』 P71

問36 イ

佐味田狐塚古墳の中央には、真美ヶ丘ニュータウンの北部を東西に走る、町道上田部・奥鳥井線が通っています。古墳が発見された当時は、保存か開発かで争いがあったようですが、結局開発という結果になり、開通後は緑色で古墳があったことを示すように残されています。



『文化財と自然探訪マップ』

問37 ウ

周濠は大きな古墳にあるのが特徴で、三吉石塚古墳以外は全長が100mを超えています。三吉石塚古墳は、古墳時代中期後葉に造られた全長約45mの帆立貝形古墳です。平成4年3月6日に県の史跡に指定されました。円筒埴輪、朝顔形埴輪は、墳丘一段目、墳頂部、外堤の一部に、立て並べられていました。

問38 ウ 問39 ウ

帆立貝形古墳の大きさ1位は男狭穂塚古墳（宮崎県）で、周濠は盾形です。水鳥形埴輪は出土していません。なお、周濠の東半分は広陵町の飛び地、墳丘の90%以上は、河合町（大字佐味田）の土地ですが、広陵町が所有しています。発掘調査は河合町が主体となって行われ、昭和31年11月7日に国史跡に登録されました。

『河合町文化財ガイドマップ』、『KAWAI てくてく水彩紀行』

#### 第4 寺院・神社分野

問40 イ 問41 ウ

大字百済にある百済寺境内にある現在の三重塔は、鎌倉時代に建立された考えられており、大織冠たいしよくかんと呼ばれる本堂は、談山神社の本殿を移築したもので毘沙門天像、菩薩立像がまつられています。また、弘法大師が掘られたと伝えられる梵字池が境内にあります。

広陵町ホームページ『百済寺三重塔』

問42 エ

十一面観音立像は正楽寺、薬師如来座像は大福寺、弘法大師座像は与楽寺の本尊です。

『ふる里の文化財をたずねて』 P65、P69、P81、P101など

問43 エ

広陵町は観光推進のため、広陵町とかかわりがある万葉歌として万葉集巻第

八の「山部宿禰赤人の歌一首」の歌碑を、昭和53年11月18日に建立しました。

アは御所市古瀬の阿吽寺に、イは明日香村豊浦の甘樫丘中腹に、ウは橿原市醍醐町の醍醐池堤にあります。

揮毫者の犬養孝（1907年4月1日～1998年10月3日）は著名な万葉学者です。大阪大学名誉教授、文化功労者、明日香村名誉村民。『万葉の旅』など万葉集に関する著書が多数あり、筆をとった万葉歌碑は百基を越えます。



『ふる里の文化財をたずねて』巻頭カラー図版P2、  
『広陵町史』P982

#### 問44 ウ

全て町内にある大和国三十三所観音霊場札所の御詠歌です。アは喜福寺（安部 第五番札所）、イは祐福寺（足相 第四番札所）、エは常光寺（南郷第八番札所）の御詠歌です。

『広陵町史』P836、P844、P863、P872

#### 問45 ウ

市杵島姫命いちきしまひめのみことは、天照大神あまてらすおおみかみと素戔嗚尊すさのおみことが「誓約うけい」をした際に生まれた五神三女神の一神です。

町内の巖島神社は大塚、三吉元大垣内方、三吉元斉音寺方、大場、百済にあります（三吉元斉音寺方は記三上神社、百済は春日若宮神社の境内社）。

山王神社の境内社である巖島神社は、市杵島姫命と習合した弁才天をまつります。

『広陵町史』P916、P922、P928、P937、P948、P965 『ふる里の文化財をたずねて』P21、P36、P49、P70、P103

#### 問46 ウ

石造伝弥勒菩薩座像は1979（昭和54）年3月23日に県の有形文化財に指定されました。仏像の表現からすれば大日如来と考えられますが、なぜか「弥勒菩薩」です。左肩上方に六行の刻銘があります。

『広陵町史』本文編P1018、『ふる里の文化財をたずねて』P63、『文化財と自然探訪マップ』

#### 問47 イ 問48 ウ

1995（平成7）年10月、十一面観音立像きやぼとけ（鞆仏）の解体修理によって像内から中国唐代に制作されたと推測される一尺程の檀造十一面観音立像が発見されました。類例のない十一面化仏の配置と緻密な彫刻は、法隆寺の国宝九面観音立像に並ぶべき優品とされています。

十一面観音立像は2005（平成17）年6月9日に国の重要文化財に指定されま

した。発見当初は白檀びやくだんと思われていましたが、その後の樹種鑑定によりマユミであることが判明しました。

『ふる里の文化財をたずねて』P81、『与楽寺十一面観音檀像』広陵町の重要文化財2

問49 イ

大垣内の天照大神の外宮が平尾にあるとされ、その外宮がこの社にあたるとされています。

『広陵町史』P925・926

問50 ア

『(旧) 広陵町史』P496・497 『広陵町史』P923・924

問51 ウ

大字百済（淵口地区）にある真宗大谷派の常念寺の境内には、常葉保育園があり、地域福祉にも取り組まれています。

『ふる里の文化財をたずねて』P78

問52 ウ

1284（弘安7）年に現在の天川村の天河弁財天を勧請したことよるといわれています。

『広陵町史』P962

問53 イ

梵字ぼんじとは、インドの梵語（サンスクリット）を理解するための字で、日本へは、仏教とともに伝来しました。弘法大師が梵字形の池を掘らせたと言われており、「あ」字は田原本町の秦楽寺にあり、「ばん」字は百済寺にあり、「うん」字は与楽寺南の現在の東部農村広場にあります。

『(旧) 広陵町史』P438

問54 ア

大字萱野にある教行寺の境内には、樹高20mにも達するイチョウの木があります。

『ふる里の文化財をたずねて』P92、『広陵町史』P1169



## 第5 特産品分野

### 問55 ア

昭和40年頃から盛んに栽培されるようになり、昭和43年に「夏秋なす」が、昭和62年に「冬春なす」が国の産地指定を受けました。

『広陵町史』P748、『町勢要覧2014』P9・10



### 問56 イ

広陵町は、日本一の靴下生産地である奈良県の中核産地として発展し、国内の靴下生産業界に揺るぎない地位を築いています。また、金魚すくいのポイは、全国で年間1,000万本生産されるうち、広陵町にある堀田プラスチック株式会社が約700万本生産され、全国シェアは約7割を占めます（平成27年現在）。金魚すくいで有名な大和郡山市が近くにあることからポイの生産が盛んになったようです。

『町勢要覧2014』など



### 問57 イ

江戸時代に国内で木綿が普及し、需要が高まったことにより広陵町内でも盛んに木綿作りが行われるようになり、現在の靴下産業の基礎を築きました。

『広陵町の靴下百年史』

### 問58 エ

大字弁財天の集落営農組合が栽培したお米を使った広陵町オリジナルのお酒。口当たりは爽やかで、やや辛口よりの味わいが楽しめるようです。広陵町のふるさと納税返礼品にもなっています。



### 問59 ウ

デカ（D）とは単位につける接頭語で10倍の意を表す語でギリシア語に由来し、アパレル業界において手袋、靴下の10足をあらわす単位として使用されます。

## 第6 祭り・イベント分野

### 問60 エ

大垣内区の専光寺で行われる地蔵盆で、毎年8月24日に開催しています。江戸時代から約300年続いているといわれる伝統行事です。

『広陵町史』P1081及び『町勢要覧2019』P16



問61 ア

正式な名称は「広陵かぐや姫まつり」。かぐや姫によるまちおこしを目的として毎年9月中旬～下旬のいずれか2日間に行われる、町で最大のお祭りです。

問62 ア

葛城地域観光協議会（大和高田市、御所市、香芝市、葛城市、広陵町）が、共同でこの地域を舞台にした映画を制作しました。ヒロインの吉井さくらを演じたのが小芝風花さん。平成29年2月上映開始し、たまに図書館などで上映会が開催されるので、皆さんもぜひ見てくださいね。

『町広報紙』平成28年8月号・10月号・平成29年1月号

問63 ウ

「天使」のいる図書館なので、羽根以外が降ってくると変ですね。

問64 イ

かぐやちゃんは、なすとスイーツが大好き！特技はなすのアレンジメニューを考えることだよ！

『広陵町くらしのガイド2017』P9



問65 ア

かぐやちゃんは、平成22年4月に「かぐや姫のまち広陵」のイメージアップを目的として商工会で誕生した女の子です。平成27年4月、広陵町制施行60周年を迎える節目の年に広陵町のイメージキャラクターとして生まれ変わりました！なお、4月15日は広陵町になった日でもあります。

『広陵町くらしのガイド2017』P9

問66 イ

かぐやちゃんのチャームポイントは、漆黒の黒髪です。かぐやちゃんのモデルとなった『竹取物語』のかぐや姫も、とても魅力的な長く美しい黒髪で、多くの男性を夢中にさせていたようです。

『広陵町くらしのガイド2015』P7

問67 エ

かぐやちゃんの持っている扇は月をイメージした黄色で、「広陵町かぐやちゃん」と書いています。

問68 エ

アの大垣内立山祭は、大字三吉（大垣内地域）の立山の展示が行われる、専光寺とその周辺で伝わる祭りです。イのひまわりウィーク・ウのチューリップ

フェアは奈良県営馬見丘陵公園が主催するイベントです。エの靴下の市は4月と11月の年2回、広陵町商工会が主催で広陵町の靴下をはじめ、地域の特産品を販売するイベントであり、竹取公園内の「みんなの広場」で開催されています。

問69 エ

奈良県内では最も遅い秋祭りといわれており、寒い時期に開催されたことからこの名がついたと言われてしています。

『広陵町史』P1082

## 第7 行政分野

問70 ア

消防団は地域ごとに分けられ、西小学校区と真美ヶ丘地区に第1分団、大字南郷、大字古寺に第2分団、大字百済と大字広瀬に第3分団、北小学校区に第4分団があります。

問71 ア

広陵北かぐやこども園は2018（平成30）年4月、はしお元気村（旧サン・ワーク広陵）は1997（平成9）年4月、広陵町・香芝市共同中学校給食センターは2016（平成28）年8月、広陵パークゴルフコースは2010（平成22）年10月に開園、開設しました。

『町勢要覧2019』P36・37

問72 ア

広陵町シルバー人材センターでは、馬見中1丁目の見立山公園地内に、子育て支援事業として平成20年6月から一時預かり施設「ポケット」をオープンしました。

『広陵町ホームページ』・『町広報紙（子育て支援情報）』

問73 ウ 問74 ア

チャレンジデー2019では、広陵町は5回目の挑戦で、茨城県常陸太田市と対戦。参加率は、広陵町が72.4%、常陸太田市が64.4%で2回目の勝利となりました。

『町広報紙』令和元年7月号・『広陵町ホームページ』

問75 エ

広陵町・香芝市の中学生が考えました。おいしい給食を食べて、みんながスマイルになりますように！

『町広報紙』平成28年8月号・『広陵町ホームページ』



問76 ウ

広陵町の産業、農業及び観光分野で、地方創生を推進するため、近畿経済産業局（経済産業省所管）と奈良県と広陵町という国・県・基礎自治体3者の地域活性化に関する連携協定は、全国初となる取り組みです。

問77 ウ 問78 ア

小学校は広陵東小学校、広陵西小学校、広陵北小学校、真美ヶ丘第一小学校、真美ヶ丘第二小学校の5校、中学校は広陵中学校、真美ヶ丘中学校の2校があります。

問79 ウ

ふるさと会館グリーンパレスの1階に、「たけのコワーキング」の愛称で、シェアオフィスやテレワークができる施設を2019（令和元）年7月（本格運営は10月から）にオープンしました。

問80 イ

「広」の図案化で、丸は町の「和」。上に伸びた形は発展を象徴している、とされています。

『町広報紙』昭和33年4月号、『広陵町例規集』、『広陵町くらしのガイド2017』

問81 イ

保健センターは、さわやかホールの2階にあり、乳幼児検診や健康診査などを行う施設があります。

問82 イ

広陵町の一般会計予算について、ここ10年は100億円前後で推移しており、およそ国家予算の1万分の1です。

『町広報紙』など

問83 ウ

令和元年12月末日現在、広陵町の高齢化率は25.47%で、人口の4人に1人が65歳以上の高齢者となります。

問84 ウ

令和元年12月末日現在、広陵町の年少人口比率は14.69%で、奈良県内では、香芝市に次いで年少人口比率が高く、若い町ということが出来ます。

問85 イ

刺繍に用いられる糸の色も緑（白）・ピンク（グレー）・黄色（紺）と異なり、かぐやちゃんの印象の違いも楽しめます！

問86 ウ

図書館は、1997（平成9）年に開館してから町内外を問わず多くの方が利用されています。一時期、同規模の図書館の中で、一人当たりの貸出冊数が日本で1、2を争うこともありました。

## 第8 地域・道路分野

問87 イ 問88 エ

箸尾駅は広陵町域にある唯一の駅で、近鉄田原本線の一つの駅です。2018（平成30）年に駅前にかぐやちゃんのフィギュアが設置されました。

『広陵町ホームページ』など

問89 イ

広陵町町歌の歌詞は、以下のとおりです。「傍岡（かたおか）」はありません。

- 1 大和青垣 四季美わしく  
かおる文化の さやけさよ  
映えし万葉 承けつぎて  
われらふるさと 築きたつ  
広陵 広陵 わがまちよ
- 2 大和広瀬野 風さわやかに  
萌ゆる緑の ゆたかさよ  
高きなりわい 育みて  
われらふるさと 担いたつ  
広陵 広陵 わがまちよ
- 3 大和葛城 雲晴れわたる  
真美にかがやく 丘並みよ  
拓く未来に 魁けて  
われらふるさと 明日にたつ  
広陵 広陵 わがまちよ

『広陵町例規集』

問90 ウ

竹取公園は、平成6年5月に一部開園し、平成15年4月に完工となりました。木製遊具など小さな子どもでも遊べる仕様となっています。

『町勢要覧2014』P19

問91 ウ

竹取公園には、自然の空気に触れながらスリルとスピード感いっぱいのそり

遊びが楽しめるちびっこゲレンデのほかにも、古墳時代の住居を復元し古代人の生活を学習できる「古代住居広場」や軽スポーツが楽しめる「みんなの広場」、古代の人が食べた木の実が探せる「古代の森」などがある「学びの森」などがあります。

『広陵町くらしのガイド2017』P18

#### 問92 ウ

このモニュメントは、かぐや姫が広陵町に帰ってくることをイメージして町制40周年（1995年）の際に作られたものです。モニュメントの下には、タイムカプセルが埋められています。このタイムカプセルを開くのは、「町制100周年の時」。つまり、2055年となっています。

『広陵町史』表写真

#### 問93 ウ

竹取公園駐車場の一画に高さ3メートルほどの竹のモニュメントがそびえ立つ「金メダルの塔」。この塔は、町制50周年の際に名誉町民である金メダリストの野村豊和氏、野村忠宏氏の栄誉を称えて建造されました。

『町広報紙』平成27年10月号裏表紙

#### 問94 ア

南郷環濠集落は、役場南側に広がる周囲に環濠を巡らせた集落で、今は護岸整備されその当時の風景を残しています。2000（平成12）年9月には旧建設省の「蘇る水百選」に認定されています。

『広陵町史』P718・719

#### 問95 イ

広陵町では町制60周年を記念して、豊かな自然と歴史や文化に恵まれた広陵町を町内外にアピールするため、広陵町イメージソング「広き陵（ひろきおか）」を制作しました。なお、作曲者は米谷幸（当時、広陵中学校教頭）さんです。

『広陵町ホームページ』

#### 問96 ア

作詞は町内の方（大山浩平氏）がされましたが、作曲は既に有名であったキダ・タロー氏にお願いし、広陵町らしい元気な曲調の歌が広陵町歌となりました。

#### 問97 イ

広陵パークゴルフコースは、「ふれあい・健康・交流」をキーワードに、2010（平成22）年に開園し、これまで多くの方、特に高齢者が気軽に遊べるス

ポーツとして楽しまれています。

『広陵パークゴルフコースパンフレット』

問98 イ

北部支線は、広陵町の北部地域を走っていることから、町より南にある近鉄大和高田駅へは乗り入れていません。

問99 ア

広陵町の靴下ブランドを日本だけでなく、海外にもPRしていくためにロゴマークを作成しました。今後、海外製品にはない町独自の靴下の開発を行っていく予定です。

問100 ウ

「かぐや姫のまち」の文字と竹を描いたマンホールの蓋が使用されています。また、町の花である「ひまわり」のマンホールの蓋もあります。

『広陵町ホームページ他』

